

2000号達成！3000号にチャレンジ



全日本自治団体労働組合
北海道本部
〒060-0806 札幌市北区
北6西7北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 谷川 広美

機関紙「自治労北海道」は、本号で2000号を達成。1962年11月21日、機関紙「全道庁」の通号を引き継ぐ「第472号」で創刊して以来48年が経過した。機関紙を保存する縮刷版は1977年9月にはじめて発行、本年4月に20冊目となった。

機関紙で情報共有 団結のツールに



機関紙は組合費の領収書。1人ひとりの組合員の手へ直接届けられている

2000号記念携帯電話写真コンテスト 23面

私の視点「チェックしよう『我が機関紙』」3面

「腕章の力」組織の力はすごい・米軍基地はいらない 4面

2000号を記念して原稿をお願ひしたい人がいた。中央本部の情報宣伝セミナーで人気の講師。3面に掲載の私の視点「毎日新聞の澤圭一郎さんだ。鋭い視点で打ちのめされそうになるが、勉強になる。うれしい原稿に感謝感謝。」

朝風

山崎昇さんの妻・澄恵さんを訪ね、話してくれた言葉をどうしても書き留めたくなった。かなりの昔の話が鮮明に心に響き、私たちが忘れかけていたことを思い起こさせてくれて涙が出た。「みんな得意思慮するものが必要ね」と...



縮刷版も20冊目

「道本部の活動を何で知る」の問いかけに、7割の組合員が「機関紙で知る」と答えている。これは、昨年の道本部意識調査の回答。新聞離れが進み、webで情報収集する組合員が増加する今日でも、機関紙の役割は大きい。

機関紙にもとめられることは、組織内の情報の共有である。活動方針や内容の理解・賛同を促し、目的を達成するための団結のツールでなくてはならない。

また、職場の実態や取り組み内容を掲載することも、意識の啓発になりにつながる。今後は、ホームページでの速報性を引き続き追求しながら、機関紙を組合員と道本部の意思疎通の場として、さらに高めて行く。

自治労北海道2000号にあたり



自治労北海道本部
執行委員長
山上 潔

次なる目標めざして

機関紙「自治労北海道」が本号で2000号を達成しました。全道庁・全市連・町村連が合流し、1962年11月1日に自治労北海道本部として発足して以来、

多くの関係者のご協力を頂いて成し遂げられた誇るべき偉業であります。当時は、「アンケート判2ページで月3回発行、組合員3人に一部、しかも全道庁と全市連か

ら機関紙発行負担金を組合費とは別に徴収しての出発(道本部運動誌第1巻より)でありました。厳しい財政事情の下であつても、発足間もない自治労北海道本部の活動を広く伝えていこうとする諸先輩の熱意が強く伝わってきます。

以来、全道・全国のたかひの経過・結果の報告をはじめ、文化・スポーツや「朔風」国会だよ

り「忙中余話」など紙面にさまざまな工夫を凝らしながら、今日まで発行し続けてきました。時代の移り変わりの中で、今やインターネット、ブログなどの通信手段が発達しています。道本部としても機関紙の役割を補完し、よりスピーディーに情報を伝達することなどを目的に「道本部ホームページ」を2005年1月6日に開設しました。

はじめ、取り組みの成果や労働組合活動の必要性などを組合員・単組・総支部に的確に伝え、訴えていく手段としての機関紙は、今後ますます高まっていくと思えます。

道本部は、引き続きその任務をしっかりと果たしていく中で、次なる目標としての3000号達成をめざしていく決意です。より一層のご支援とご協力を心からお願ひします。



「自治労北海道」で検索すると見ることができるホームページ



民主党に政権交代して、少しずつ良い方向に変化している。流れを後戻りさせないために、参議院選挙で藤川の勝利は、政権を安定させる一歩になる

時計の針進めよう

5月22日、札幌市内で、民主党北海道政治セミナーが開かれ、1200人が参加し、今夏の参院選での2人完勝による政権安定を呼びかけた。セミナーでは、官邸の鳩山総理と会場をライブでつなぐ「公約実現に向けて頑張る。時計の針を戻してはならない」と力強く述べ、前に進めたい。民主党の一翼を担う藤川まさしさん、徳水エリさんへの支援を訴えた。

参院選予定候補者の藤川まさしさんは、峰崎参議の後継者として全道を回っている。民主党にとって地方を大事にしてもらっている、後戻りさせないでほしいと言われている。ふるさとで生まれ育つように、安心・安全な北海道を創っていきな

ふたりは自治労の仲間です



ともに先へ、先へ。比喩えさきたかし

選挙区 藤川まさし

※自治労道本部推せん参院選予定候補者

JICHIRO スケジュール

2010年6月

- 3日(木) 道本部第112回中央委員会(～4日・札幌市)
- 4日(金) 第3回自治労共済道支部総代会(札幌市)
- 6日(日) 家族会全道交流集会(札幌市)
- 8日(火) 道本部第20回執行委員会(札幌市)
- 11日(金) 臨時・非常勤等職員連絡会第3回幹事会(札幌市)
- 12日(土) 第17回臨時・非常勤等職員連絡会総会・第26回全道交流集会(札幌市)
- 第38回いのちとくらしを守る全道女性集会(札幌市)

道本部ホームページ

自治労北海道 組合員専用ページは ユーザー名:hokkaido パスワード:jichi2009



私の視点

チエツクしよう「我が機関紙」

毎日新聞東京本社販路部副部長とうきょう支局長 澤 圭一郎さん

「組合機関紙はほとんど読んでいない」とは、集会にも参加したことありませぬ。実はこれ、私が毎日新聞の労働組合本部執行委員長に選出された時のあいさつです。こんな不良組合員を委員長に出すのだから、なんと懐の深い(？)労働組合なのだろうと改めて感心しながら選出された。総会の演台に立ったのであり、もったもった、これで終わってしまつては格好がつかないのだから、フレンドを続けました。「なので、機関紙無読、集会不参加の組合員の気持ちだけはよく理解できます。」組合活動に熱心な方には怒らねえ、現実の新聞離れや機関紙離れは、そこに大きな原因があります。目を引く見出し、身近な具体的な状況説明、時には物語のような書きっぷり、さらには簡潔な文章。これが揃った上での、機関紙によるアシテーションは無類の宣伝効果を発揮します。読者にとって「身につまされる」内容が盛り込まれた機関紙は、必ず読んでもらえます。

読者である組合員は「我が機関紙はどうであるか」とチエツクするつもりでお話になつてほしい。すると、そこには有益な情報が、さびげなく書かれていることに気付くこともあつた。



「1歳のひなまつり」 山口 裕一さん 札幌市労

◇娘は大事なおもちゃを雛壇に「飾り付け」しました！



「いい人できるかな」 澤野 裕さん 全道庁労連釧路総支部

◇厚岸にある愛冠岬に行った時、何度も鐘をならしていました。



「ピンドメ」 高橋 悦子さん 苫小牧市職労

◇おばあちゃんに買ってもらったピンドメをつけてうれしそう～女の子に見えるかしら。



「わーい！」 峯垣 茂徳さん 札幌市職連

◇肝心なクリスマスに風邪を引いた息子でしたが、好きなキャラクターのケーキを見てすっかり元気に！



「ママ大好き！」 芦川 英嗣さん 当別町職員組合

◇1歳になる三男が身につけた満面の愛想笑い。お兄ちゃんには悪いけど、もうメロメロです(笑)。



「初ひ孫初抱っこ」 坂井 典夫さん 留萌市職労

◇2人とも緊張、でも、笑顔がほころびます。

2000号記念 携帯電話写真コンテスト あなたの「うれしい一瞬間」をありがとう！

最優秀賞 「うれしいなあ」 浜村 智絵さん 日本年金機構職員労働組合苫小牧分会 ◇2歳の娘と、初めてお店でケーキを食べた時のものです。母が大好きな娘のうれしそうなお顔が、仕事の疲れを癒してくれます。



最優秀賞は 浜村智絵さんの「うれしいなあ」

機関紙「自治労北海道」2000号を記念した、携帯電話コンテスト「うれしい一瞬間」に、ご応募ありがとうございました。最優秀賞は、日本年金機構職員労働組合苫小牧分会の浜村智絵さんの「うれしいなあ」に決定しました。おめでとうございます。賞品のデジタルカメラをお届けします。優秀賞には図書券(3,000円)。ほんわか賞にはおこめ券(2,000円)をお届けします。

優秀賞(7点) 「UFOキャッチャーの中」 坂 智恵子さん 札幌市職連 ◇こんな中に入っちゃった！うれしいけど…いいのかな？

うれしい情報まっます

今回のコンテストには、22人の組合員のみならず、すてきな「うれしい一瞬間」の数々を送っていただきました。その多くは、子どもがテーマの作品でした。毎日の仕事、組合や地域の活動。さらに、家庭での営みの中に「うれしい一瞬間」があふれていることに気づかれます。今後の機関紙のなかにも、自治労や、組合員の「うれしい一瞬間」がたくさん掲載できるように、と願わずにはられません。みなさまからの「うれしい情報」をお待ちしています。

2人にがんばった賞

コンテスト入賞者20人のみなさまに賞品をお届けする予定でしたが、応募人数が22人だったため、全員に賞品を差しあげます。がんばった賞の2人には、クオカード(1,000円)をお届けします。



「色づいた！」 木村 春樹さん 木古内町職労

◇例年であればとくに咲いている我が家のチューリップ。やっと1本が色づいてきたのでパチリ！それにして寒い春ですね。



「スイーツ最高！」 小村 一生さん 苫小牧市職労

◇選出してスイーツを食べる瞬間が至福の時です。道の駅とうや湖の『じゃがいもソフトクリーム』



「ヤッター」 土本佐喜夫さん 札幌市労

◇息子の少年野球が勝利した！



「たらこキューピー！」 石坂 勝美さん 占冠町職

◇外出先で「顔出し看板」を見かけると、親子揃ってうれしくなります。この日見つけたのは、たらこキューピー。さて、小学2年生の息子はどれでしょう？



「目が開いたあ」 江本 博幸さん 北見市職労

◇産まれたばかりでやっと目を開いてくれました。名前は共恵(ともえ)です。共闘の共に恵むです。あと上から読んでみても…えもともえです。



「みんなでお出かけ(^v)v」 尾路 健一さん 全道庁労連札幌総支部

◇双子の兄たちと産まれたばかりの三男、これから車で公園と買い物にお出かけです！ツインズ笑顔がうれしさ満開です(^v)/



「天使の寝顔」 干谷 浩さん 全道庁労連札幌総支部

◇初孫のかわいい寝顔をなめるように撮ってみました。



「無料露天風呂」 塚本 洋さん 苫小牧市職労

◇近郊の長流川にある無料露天風呂を見つけた。親子三人ゆったり露天風呂。



「足湯でほっ!!」 長畑 範明さん 札幌市職連

◇寒い旅行中、途中足湯を見つけ、足を入れて、ほっ！うれしい一瞬間です。



「アムアム…」 清水 理士さん 浜頓別町職労

◇不安げな僕の姪っ子。好物の果物で至福のひとつき…あんまりうれしそうではありませんが、きっと喜んでいるはず…(^_^)



「車and愛娘」 久保 征治さん 全道庁労連十勝総支部

◇ピカピカの愛車Y33シーマとアンパンマンが大好きな愛娘とのツーショット！まさにお父さんは『うれしい一瞬間』であります。

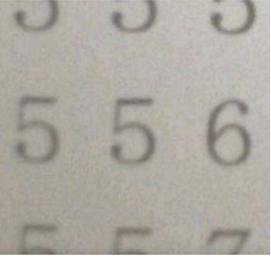


「母の米寿と私の還暦」 有田 幸子さん 札幌市職連

◇大正11年生まれの母は、赤井川村で1人で暮し。今年4月で88歳。私も還暦を迎えました。ラジオ番組で頂いたお祝いのお花を持って。

Table with 2 columns: Year and Name. Lists past editors from 1962 to 2008.

がんばった賞(2点)



「合格！」 長谷川隆志さん 全道庁労連留萌総支部 ◇娘が日々、努力した結晶～！お疲れさまー (-_-)v

「ジャス！40(フォー)にして、ついに」 天満谷千加さん 函館市職労

◇念願のスキー1級、やっと取りました。今年40歳です。来年だとまた年取るし、何となく今年取りたかったのが頑張りでした。ちょっと自慢かな！

「自治労北海道」歴代編集人

Table with 2 columns: Year and Name. Lists past editors from 1962 to 2008.

